

調査研究報告書 No.173  
2018



# 中高年再就職支援訓練プログラムの開発 及び検証実施に関する調査・研究

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.173  
2018

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT  
POLYTECHNIC UNIVERSITY

# はじめに

近年の少子高齢化に伴う労働力人口の減少、グローバル化による社会経済環境や産業構造の変化を背景に、労働力の需給両面にわたる構造的な変化が著しい中、持続可能な活力ある経済社会を構築するため、高齢者、障害者、女性、若年者を含め、すべての労働者が生涯にわたり労働市場でその能力を発揮し、活躍できる機会を確保していくことが必要である。特に職業人生が長期化していくなか、中高年期以降においても職業能力開発を充実させていくことが課題となっている。

第10次職業能力開発基本計画および一連の政府検討によれば、中高年を対象とした再就職のための実践的な職業訓練に必要な条件として、

- ・中高年者が、自らの経験や能力を確認する機会があること。
- ・不足する技能や知識などを明らかにし、既存の能力を再構築できること。
- ・再就職に際しては、就業意識の転換や見直しが必要であること。

などが示された。

そこで今般、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、厚生労働省からの依頼に基づき、有識者、関係行政機関、民間教育訓練機関と連携を図り、従来のアプローチとは異なる中高年に特化した再就職支援プログラムの開発に取り組んだところである。今般開発されたモデルカリキュラムが、今後、全国の公共職業訓練コースを企画する際において、参考となることを期待する。

最後に、本調査研究を進めるにあたり、ご協力をいただいた関係各位に対し、心より感謝を申し上げます。

2018年3月

職業能力開発総合大学校  
基盤整備センター  
所長 内田 修一



## 目次

第1章 事業の概要	3
第1節 事業の概要と背景	3
第2節 事業の内容	4
2-1 中高年齢者に係る調査	4
2-2 委託訓練カリキュラムの開発	4
2-3 対象分野の選定	4
2-4 委託訓練の実施	5
2-5 モデルカリキュラムの開発	6
2-6 中高年再就職支援プログラムの開発・検証検討委員会	6
第2章 中高年齢者に係る調査	9
第1節 文献調査	9
第2節 関係各所へのヒアリング	12
第3章 委託訓練カリキュラムの開発	17
第1節 カリキュラムの概要	17
1-1 訓練カリキュラムのコンセプト	19
1-2 従来の訓練との比較	20
1-3 訓練項目の定義	22
第2節 委託訓練カリキュラムの策定	23
2-1 ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキル	23
2-2 専門科目	23
2-3 情報リテラシー	24
2-4 就職活動実践力	24
2-5 訓練期間	24
2-6 訓練カリキュラム（案）	24
第3節 委託訓練カリキュラム	28
3-1 管理監督者分野：オフィスマネジメント科	28
3-2 営業販売分野：営業・販売スキル養成科	32
3-3 介護分野：職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコース	36
第4章 委託訓練の結果と検証	43
第1節 委託訓練の結果	43
第2節 委託訓練カリキュラム（実施版）	45
第3節 中高年再就職支援訓練プログラムの検証方法	52
3-1 アンケート調査	52
3-2 ヒアリング調査	55
3-3 分析指針	55
第4節 訓練受講者向けアンケートおよびヒアリング結果	57
4-1 訓練受講者の属性	57

4-2	満足度	61
4-3	習得度	62
4-4	行動変容度	65
4-5	有益度	67
4-6	訓練時間	68
第5節	特記事項	69
5-1	介護分野のカリキュラムについて	69
5-2	グループワークについて	69
5-3	カリキュラム外の項目について	70
第5章	モデルカリキュラムの開発	73
第1節	モデルカリキュラムについて	73
1-1	総訓練時間	73
1-2	ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキル	73
1-3	専門科目	73
1-4	情報リテラシー	73
1-5	就職活動実践力	74
1-6	調整時間	74
1-7	グループワーク	74
1-8	留意事項	75
第2節	モデルカリキュラム例	76
	参考文献	78

#### 巻末資料

- 資料1：調査票
- 資料2：統計表（入所時）
- 資料3：統計表（中間時）
- 資料4：統計表（修了時）